

家づくりのコンシェルジュに

「とやま起業未来塾」(富山県新世紀産業機構主催)の塾生である柴草万里子氏は、一般消費者向けに家づくりのコンシェルジュ(案内役)を務める新会社を今秋をめどに設立する。独自の優れた技術を持ちながら、大手ハウスメーカーの圧倒的な広告宣伝力に押され気味の地場工務店、中小建設会社などを支援するのが目的だ。



とやま起業未来塾塾生 柴草万里子氏

とやま起業未来塾生
柴草 万里子氏

もともと富山県内は、地場工務店などのシェアが高い異色の土地柄。年間40棟前後もこなす建築会社が各エリアに群衆制覇し、10〜20棟程度の会社もいたわりを持つ。こうした中小企業の場合、担当者経験別式の大手と違い、社長や設計士と直接打ち合わせられるので細かい注文にも融通がきき、気軽にアフターサービスを頼める安心感もある。

一方でエンドユーザーの立場から、特定の企業に偏らない中立的な情報が少い」と意欲をみせる。

今後は夏ごろまでにホームページを開設し、住宅会社の登録を開始。当初は20社程度からスタートし、県内で約50〜60社まで増やしたい考え。登録企業から会社概要や工法・技術、施工事例といった資料を提出してもらい、事務所にはカタログや商品サンプルなどのライブラリーを設置する。

今秋、中立的な
相談窓口開設へ